

令和3年度 入札監視委員会議事概要

九州防衛局

開催日及び場所	令和4年3月1日(火) 福岡第2合同庁舎2階 共用第2・3会議室
委員	牧角 龍憲 (大学名誉教授) 松藤 泰典 (大学名誉教授) 諏佐 マリ (大学准教授) 柴田 祐二 (公認会計士) 徳永 響 (弁護士)

I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和3年10月1日 ~ 令和3年12月31日		
審議対象件数	57件		
1. 入札状況について (入札参加資格の設定及び落札者決定の経緯等について)			
抽出件数	6件	(審議概要) 1 建設工事等発注実績について 2 指名停止の措置状況について 3 談合疑義案件情報について 4 低入札価格調査情報について 5 抽出事案について	
建設工事	一般競争 (政府調達協定対象)		0件
	一般競争 (政府調達協定対象外)		2件
	随意契約		0件
建設コンサルタント業務等	4件		
	意見・質問	回答	
○ 委員からの意見・質問	【建設工事等発注実績について】 特に意見なし		
○ それに対する回答等	【指名停止の措置状況について】 特に意見なし 【談合疑義案件情報について】 該当案件なし 【低入札価格調査情報について】 特に意見なし		

	意見・質問	回答
<p>○ 委員からの意見・質問</p> <p>○ それに対する回答等</p>	<p>【抽出事案について】</p> <p>1 〔新田原(R3)燃料施設新設土木工事〕 一般競争（政府調達協定対象外）</p> <p>・ 1者応札となった経緯、1者応札を回避するために行っている対策について説明してください。</p> <p>・ 「前工事及び後工事に係る契約不適合責任等を含めた契約の成果を継承し、当該工事の目的を達成できる」というのは、前工事及び後工事の契約者しかできないのではないですか。</p> <p>2 〔鹿屋(3)構内整備土木工事〕 一般競争（政府調達協定対象外）</p> <p>・ 1者応札となった経緯、1者応札を回避するために行っている対策について説明してください。</p>	<p>・ 本件は、現在施工中の「新田原(R元)燃料施設新設土木その他工事(前工事)」及び「新田原(R元)燃料施設新設土木その他追加工事(後工事)」と併せて実施する工事になります。</p> <p>予期せぬ地中障害物の発覚等により、前工事の発注時に明示していた後工事以外の内容について発注する必要が生じたため、明示していない本工事については、一般競争入札にて発注しました。</p> <p>本工事は、前工事及び後工事と密接な関係にあるため、「前工事及び後工事に係る契約不適合責任等を含めた契約の成果を継承し、当該工事の目的を達成できる証明ができること」を競争参加資格として求めましたが、結果として、この要件が厳しかったのではないかと考えます。</p> <p>1者応札を回避するための取組としては、地域の特性に応じ、地域評価型を適用するなど、地元企業の受注機会の拡大に努めています。</p> <p>・ 本件の工事内容は、側壁工であるため他の業者でも対応できると考えます。ただ、屋外タンク貯蔵所としての消防検査に合格する必要があるため、本要件を資格として求めざるをえませんでした。</p> <p>・ 建設業協会に聞き取りを行ったところ、建設工事における慢性的な技術者不足に加え、本件の公告前に、鹿屋市において令和2年7月豪雨の災害復旧工事をはじめとする防災工</p>

	意見・質問	回答
<p>○ 委員からの意見・質問</p> <p>○ それに対する回答等</p>	<p>・ 1者応札を回避するための対策として、他に検討できるものはありますか。</p> <p>3 [えびの送信所(3)土木工事監理業務]</p> <p>4 [申良(3)土木工事監理業務] 建設コンサルタント業務等</p> <p>・ 1者応札となった経緯、1者応札を回避するために行っている対策について説明してください。</p>	<p>事、排水対策工事等が公告されたことから、配置予定技術者の確保が困難であったのではないかと回答でした。</p> <p>1者応札を回避するための取組としては、鹿屋基地における工事を発注する際は地域評価型を適用し、地元企業の受注機会の拡大に努めています。</p> <p>また、競争参加資格として、業者格付を「C」から「B又はC」に拡大、同種工事の実績として施工数量の実績は求めず、参加しやすい条件を設定することにより、競争性の確保に努めたところです。</p> <p>・ 工期の設定、工事の分割方法を整理するほか、建設業界や各自治体に対し周知していくことが重要だと考えます。</p> <p>・ 1者応札となった経緯としては、慢性的な技術者不足に加え、本業務の公告時期に九州防衛局及び中国四国防衛局において同様の業務が公告されたため、参加資格要件を満足する配置予定技術者を確保することが困難であったものと思われま</p> <p>す。</p> <p>1者応札を回避するための取組としては、競争参加資格として、数量の実績は求めず、同種業務を「法面工事を含む土木工事に係る監理業務、コンストラクションマネジメント業務、設計業務のいずれかを履行した実績」、類似業務を「土木工事に係る監理業務、コンストラクションマネジメント業務、設計業務のいずれかを履行した実績」とし、参加しやすい条件を設定することにより、競争性の確保に努めたところです。</p>

	意見・質問	回答
<p>○ 委員からの意見・質問</p> <p>○ それに対する回答等</p>	<p>・資格条件を緩和されたとのことですが、この案件に対してのみ緩和されたのですか。</p> <p>・本件の契約業者は資格緩和があったから参加できたのですか。</p> <p>5 [佐世保(3) 崎辺防衛施設整備統合監理業務] 建設コンサルタント業務等</p> <p>・1者応札となった経緯、1者応札を回避するために行っている対策について説明してください。</p> <p>・実績をみると過去にも同じような案件で1者応札となっていますが、特定の業者しかできないよう特異性があるのですか。</p> <p>・競争入札とは、本来、複数者の評価点及び価格により契約業者を決定するというプロセスが必要であり、1者応札ではそれがうまく機能していないと思われるため、1者応札の原因がどこにあり、ど</p>	<p>・熊本支局においては、特殊なものを除いた施工監理及び設計業務について緩和しています。</p> <p>・直接の要因ではありませんが、資格としては参加しやすい条件だったとのことでした。</p> <p>・受注業者に聞き取りを行ったところ、陸上及び海上工事の工程管理、安全管理のほか、狭隘な市道における市の道路整備との調整及び工事車両の動線計画、近隣住民への騒音等対策や交通渋滞対策等の複雑で面倒な業務であるため、また、他の災害復旧事業やインフラ整備事業等による人材不足もあることから応募を控えたのではないかと回答でした。</p> <p>1者応札を回避するための取組としては、比較的技術者を確保しやすいと思われる8月上旬に公告し、業務の実績に限定せず、同種業務を「建設工事の監理業務（総合調整）又はコンストラクションマネジメント業務の実績」、類似業務を「建設工事の監理業務（土木工事又は建築工事）の実績」と参加要件を緩和しました。</p> <p>・特定の業者しかできないということはありません。参加資格も経験も建設工事の監理業務又はコンストラクションマネジメント業務としており、特に難しいものではありません。</p> <p>・参加者を増やすため、発注時期及び工事の分割方法の検討、建設業界等への周知が重要だと考えています。なお、毎年、年度当初に関係地区を周り、発注計画の説明及び入札への参加をお願いしています。</p>

	意見・質問	回答
<p>○ 委員からの意見・質問</p> <p>○ それに対する回答等</p>	<p>ういう対策が必要か検討することが重要だと思います。</p> <p>6 [佐世保(3)崎辺岸壁新設工事等 監理業務] 建設コンサルタント業務等</p> <p>・ 1者応札となった経緯、1者応札を回避するために行っている対策について説明してください。</p> <p>・ 統合監理業務とは違い、さほど難易度が高くないと思われませんが、1者応札の要因がほかにあると考えますか。</p> <p>・ 監理業務の1者応札への対策は、委員会としても検討する必要がありますので、局なりの改善策等（競争性を担保するためどのように一般競争を活性化させるか・業界等に対しての周知方法・どのような案件が1者応札となっているか）を検討していただき、委員会において協議できればと考えます。</p>	<p>・ 当該業務の対象工事は岸壁工事及び地盤改良工事の海上工事で、これらの施工監理の実績だけでは企業及び技術者の確保が難しいことが想定できたため、参加者確保対策として、企業及び技術者の同種業務の対象範囲を工事監理業務の実績に限らず、設計業務も実績として認めるよう緩和しました。</p> <p>今後、1者応札を回避するため、業務実績の緩和だけでなく、緩和点のアピール、業務の適正な引継ぎ及び管理技術者や会社のバックアップによる担当技術者の途中交代条件の付与等について検討します。</p> <p>・ 陸上工事の監理業務であれば経験されている方が多いですが、海上工事の監理業務であるため、経験が少なく、少し敬遠されたものかと思えます。</p> <p>・ 局内で検討する1者応札への対策について、今後の委員会において協議をお願いします。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義件数		0件	(審議概要) なし
工事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
		意見・質問	
○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等		なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	
3. 入札結果の事後的・分析結果について（公正入札調査会議への報告内容の確認等）			
審議概要		<ul style="list-style-type: none"> ・契約件数と落札率、応札率の分析 ・契約件数と一位不動・順位不動の分析 ・低入札、不調、不成立事案の分析 	
		意見・質問	回 答
○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等		なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	